

響灘方面から周防灘方面を望む



長門城を知る

～幻の長門城～

【城郭データ】

城郭名：長門城（ながとのかき）

時代：665年（日本書紀）

築城者：達卒答咈春初

（たつそつとうほんしゅんそ）

主な遺構：不明

登山条件：不明

所在地：不明

倭を率いた女帝の齊明天皇と革新的な天智天皇。親子で国際紛争の難局を乗り切った。

【長門城の概要と特徴】

西暦663年の飛鳥時代、朝鮮半島での白村江の戦いにより、倭は新羅と唐の連合軍に敗北。反転して日本への侵略に備えるため造られた古代山城の一つに長門城がある。

古代山城の特徴として、広く山麓を取り囲み内部に櫓や倉庫の建物なども設けた規模の大きさがあげられ、場所によっては谷を塞ぐ大きな石塁や城門なども見つかった。

長門城もその特徴を持つ遺構があるはずであるが、日本書紀に名が残るのみで位置や詳細はわかっていない。まさに「幻の城」と言われる由縁である。



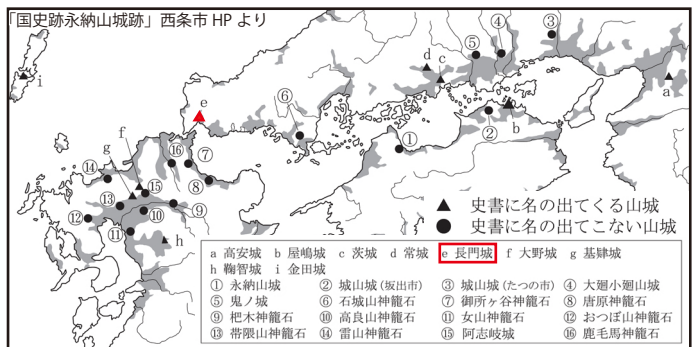
【古代山城復元イメージ】

岡山県総社市にある古代山城「鬼ノ城」の復元イメージ。山麓を城壁で大きく取り囲み、内部には建物や貯水池など設け、長期間籠城ができる造りとなっている。（鬼城山ビジターセンターより）

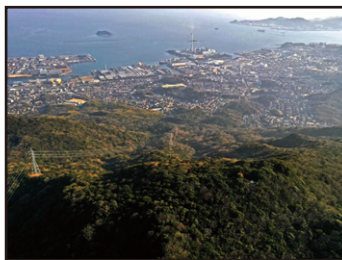


長門城のあるところ～所在地論争

白村江の戦い以降、九州から畿内へ至る要所に古代山城が築かれた。長門地域は重要地点の一つであるが、どこに古代山城である長門城が造られたか、江戸時代より論争が続き今も判明していない。



A. 候補地の一つ「鬼ヶ城」。半島に直面した響灘方面にあり、大門などの地名と石塁の存在などが証拠とされる。



B. 候補地の一つ「四王司山」。古代官衙があった長府に近く、四王院の設置など太宰府や大野城の事例に近いとされる。



C. 候補地の一つ「霊鷲山」。山頂が開けている地形と古代瓦が採集されることなどから有力地の一つとされる。



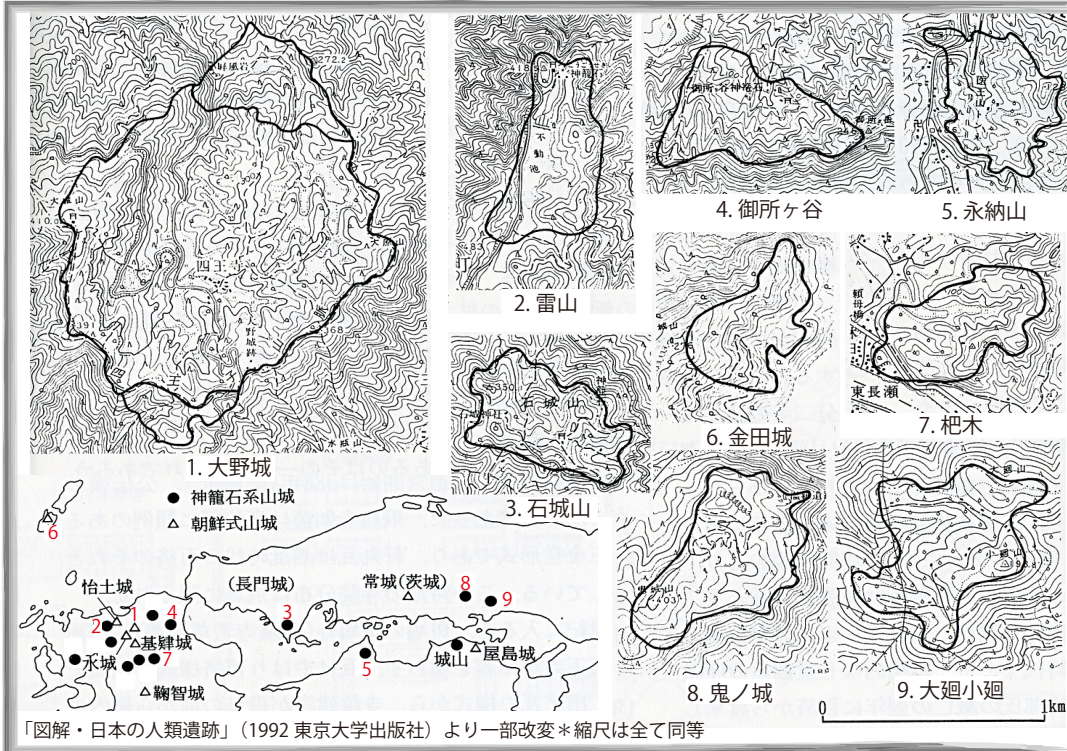
D. 候補地の一つ「火の山」。長府に近く、かつ関門海峡を見下ろす位置にある事が有力ながら、改変著しく痕跡は不明。



長門城を探す！

【古代山城の縄張り】

中近世の城郭と違い、曲輪（郭）が存在せず一帯を城壘で大きく囲む中国大陸の城に似た形態。山頂を中心に山麓に城壘をめぐる「鉢巻式」や谷を含む斜面を取り囲む「含谷式」に分類される。内部には城門や倉庫などの礎石や、井戸・貯水池などがある。



倉庫などの礎石や、井戸・貯水池などがある。

城壘は土塁が主体であるが、谷部には石塁を巡らせ水門等を造る。石積は大きな割石・切石を横方向並べる布積み。壁面の角度が60～90°と急峻。極めて高度な土木技術で築かれている。

これらの特徴が見つかれば古代山城「長門城」の存在が確証できる。

【図解・日本の人類遺跡】(1992 東京大学出版社) より一部改変*縮尺は全て同等



A：鬼ノ城の石積の上に土を重ねた城壘。整った割石・切石を水平に積み上げる。一部には水抜（水門）も設けられている。

B：御所ヶ谷の谷を遮る大規模な石塁。崩落を防ぐために湾曲させ強度を保つ高度な造り。

C：石城山の直線的な城壘。基礎に均一な切石を並べ、上に砂と土を交互に積み重ねた「版築」工法による土塁を築く。

D：鬼ノ城で見つかった大型建物の礎石。礎石上の柱で建物の床を支える総柱式の建物は倉庫などの用途が考えられる。

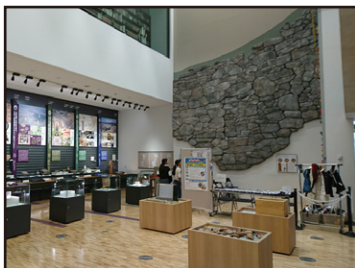
もっと長門城（古代山城）を知りたい…

【参考となる資料】

- ・『山口県中世城館遺跡総合調査報告書 - 長門国編 -』(2017) 山口県教育委員会
- ・『下関市史・原始—中世』(2005) 下関市
- ・小野忠濃『山口県の考古学』(1985) 吉川弘文館
- ・向井一雄『よみがえる古代山城』(2016) 吉川弘文館
- ・『図解・日本の人類遺跡』(1992 東京大学出版社)

【参考となる場所など】

- ・大野城心のふるさと館：古代山城「大野城」を解説展示。
住所：福岡県大野城市曙町 3-8-3 電話：092-558-5000
- ・鬼城山ビジターセンター：古代山城「鬼ノ城」の解説展示。
住所：岡山県総社市黒尾 1101 番 2 電話：0866-99-8566



大野城心のふるさと館では古代山城大野城の石積みが復元展示されています。



城門が復元された鬼ノ城跡。隣接のビジターセンターも併せて訪問をお勧め。